



Sharan

クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください



Sharan に関する資料

本書



クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。

ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。

モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

QR コードについて

本書内で QR コードが表示されている機能は、動画で機能の説明を確認することができます。

QR コード対応の携帯電話から QR コードを読み取ると、各機能の動画による説明が閲覧できます。

動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。



取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。

本書と合わせて必ずお読みください。

Sharan

クイックユーザーガイド

目次

運転の前に

運 転

便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

目次

外観	4
内装	8

1. 運転の前に 12

運転準備	12
リモコンキー	12
スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”	13
ドア	14
シートの調整	17
センターアームレストの調整	20
ステアリングホイールの調整	21
ミラーの調整	22
シートベルト	25

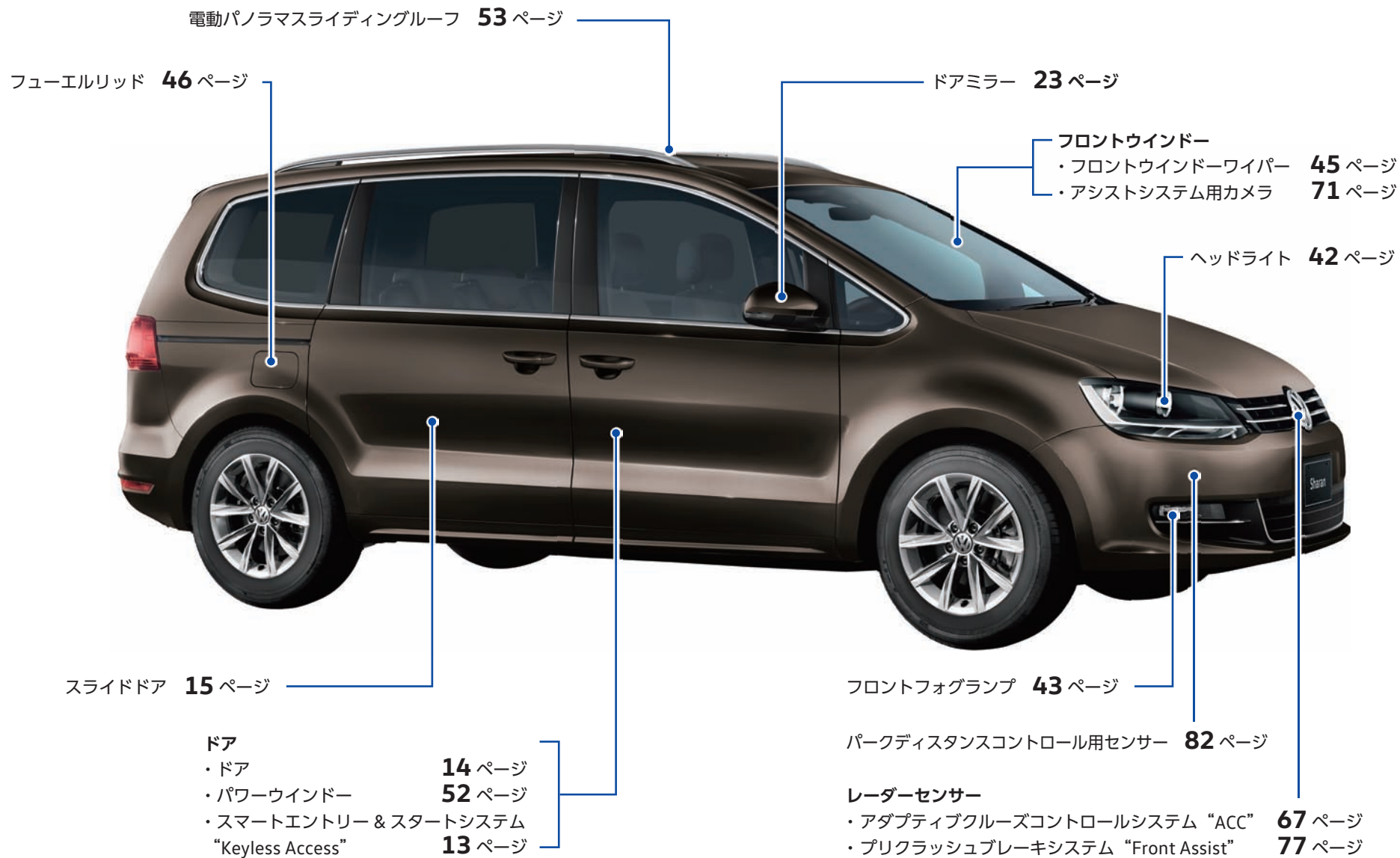
2. 運転 28

運転する	28
コンビネーションメーター	28
警告灯および表示灯	30
マルチファンクションインジケーター	32
エンジンの始動・停止	37
シフト操作	38
パーキングブレーキ	40
Start/Stop システム	41
ライト	42
方向指示器	44
非常点滅表示灯	44
ウインドーワイパー、ウォッシャー	45
燃料の給油	46

3. 便利な機能 48

室内装備	48
フルオートエアコンディショナー	48
シートヒーター	51
パワーウインドー	52
電動パノラマスライディングルーフ	53
チャイルドシート	55
エアバッグ	58
ルームランプ、リーディングランプ	59
12V ソケット	60
マッサージ機能	60
荷物の積載	61
ラゲージルーム	61
運転支援	67
アダプティブクルーズコントロールシステム “ACC”	67
レーンキープアシストシステム “Lane Assist”	71
ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）	73
リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）	74
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”	75
プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist” （シティエマージェンシー機能付）	77
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）	79
タイヤモニタリングシステム	80
パークディスタンスコントロール	82
リヤビューカメラ “Rear Assist”	84
駐車支援システム “Park Assist”	85

外観



リヤウインドー

- ・リヤウインドーワイパー **45** ページ
- ・リヤウインドーヒーター **48** ページ、**50** ページ



テールライト **42** ページ

- ・パークディスタンスコントロール用センサー **82** ページ
- ・ブラインドスポットディテクション用センサー **73** ページ

- ・テールゲートリリースボタン **61** ページ
- ・リヤビューカメラ “Rear Assist” **84** ページ

内装

非常点滅表示灯 ON/OFF ボタン **44** ページ

- ・フルオートエアコンディショナー **48** ページ
- ・フロントシートヒータースイッチ **51** ページ

助手席フロントエアバッグカットオフスイッチ **58** ページ



- ・ Start / Stop システムボタン **41** ページ
- ・トラクションコントロールシステム ON/OFF ボタン **79** ページ
- ・駐車支援システム "Park Assist" **85** ページ
- ・パークディスタンスコントロール ON/OFF ボタン **82** ページ
- ・タイヤ空気圧警告灯 SET ボタン **81** ページ
- ・パワースライドドア開閉ボタン **15** ページ
- ・テールゲート開閉ボタン **61** ページ

セレクターレバー **38** ページ

助手席フロントエアバッグカットオフスイッチ表示灯 **58** ページ

エンジンスタート/ストップボタン **37** ページ

レバー

- ・ヘッドライト **42** ページ
- ・方向指示器 **44** ページ
- ・ドライバーアシストシステム用ボタン **33** ページ

パドルシフト **39** ページ

ディスプレイ **28** ページ

ライトスイッチ **42** ページ

ステアリング調整レバー **21** ページ

マルチファンクションステアリングホイール

- ・マルチファンクションインジケーター **32** ページ
- ・アダプティブクルーズコントロールシステム "ACC" **67** ページ

レバー

- ・ウインドーワイパーウォッシャー **45** ページ

- ・センターロッキングスイッチ **14** ページ
- ・パワーウィンドースイッチ **52** ページ
- ・ドアミラー用回転式ノブ **23** ページ

フロントシートベルト **25** ページ



2列目シート

- ・2列目シート **18、63** ページ
- ・ヘッドレスト **19** ページ
- ・ISOFIX チャイルドシート **55** ページ
- ・インテグレートッドチャイルドシート **56** ページ

12V ソケット **60** ページ

フロントシート

- ・マニュアルシート **17** ページ
- ・パワーシート **17** ページ
- ・ヘッドレスト **19** ページ

12V ソケット **60** ページ

- ・オートホールドボタン **40** ページ
- ・エレクトロニックパーキングブレーキボタン **40** ページ

3列目シート

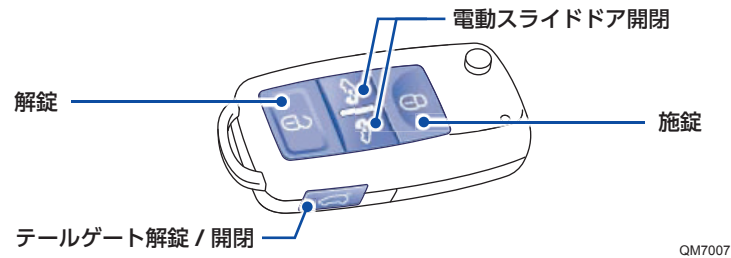
- ・3列目シート **64** ページ
- ・ヘッドレスト **19** ページ
- ・ISOFIX チャイルドシート **55** ページ

運転の前に

運転準備

リモコンキー

リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。

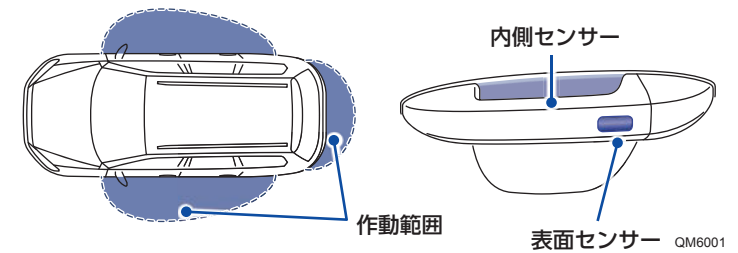


- 施錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
- 解錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
- テールゲート解錠 / 開閉ボタン
…………… テールゲートのみ解錠します。押し続けると、テールゲートが開き、短く押すと閉めることができます。
- 電動スライドドア開閉ボタン
…………… 押し続けると、スライドドアを開閉することができます。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れる、またはテールゲートボタンを操作すると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



- 表面センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

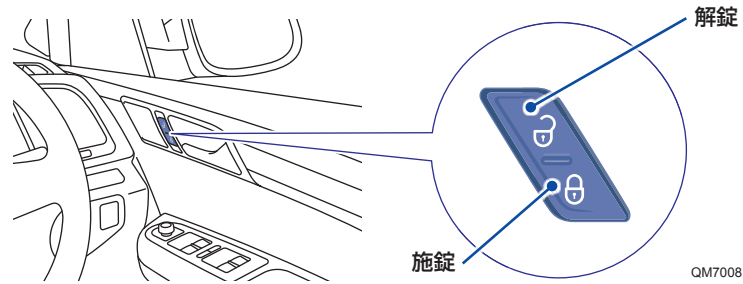
解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示器が4回点滅し、ドアを施錠できません。

ドア

センターロックング

車内からは、運転席のドアについているセンターロックングスイッチで施錠、解錠ができます。

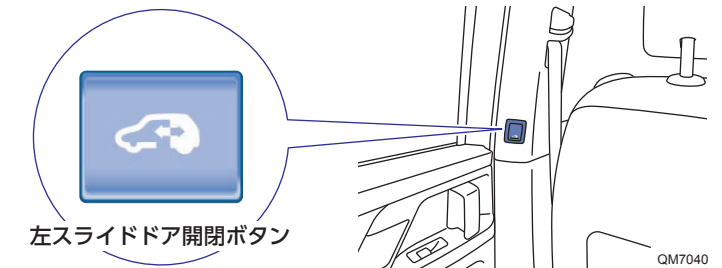
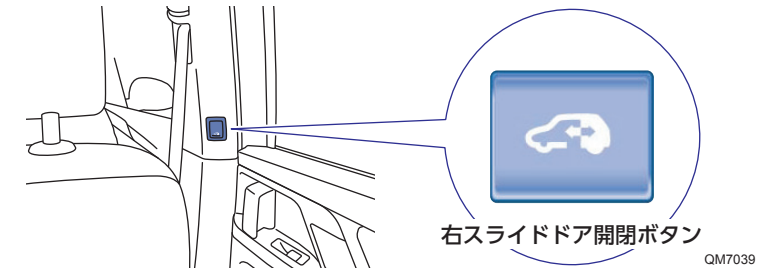
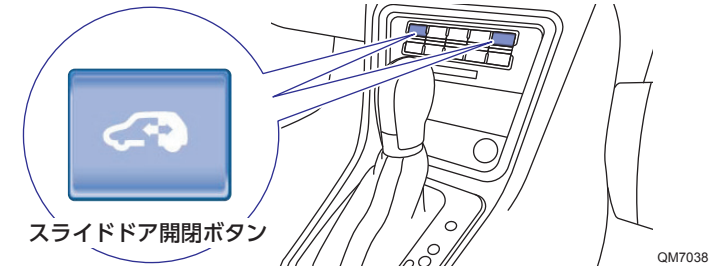


自動施錠 (オートロック)

15km/h 以上で走行すると、自動的に施錠されます。この機能はコンビネーションメーターのメニューで設定を切り替えることができます。

スライドドア

リモコンキー、センターコンソール、運転席・助手席後部ドアピラーにあるボタンで自動開閉ができます。または、外側・内側のドアハンドルを操作することで開閉することもできます。

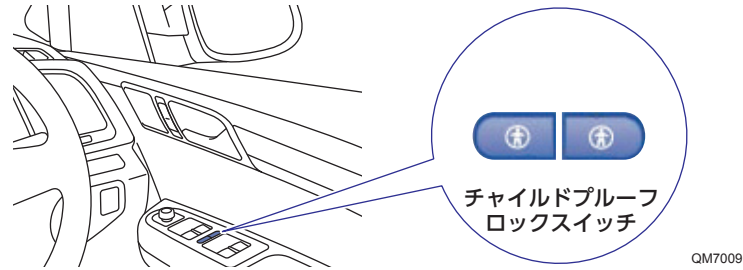


アドバイス

フューエルリッドが開いていると、右側スライドドアを操作することはできません。

チャイルドブルーロック

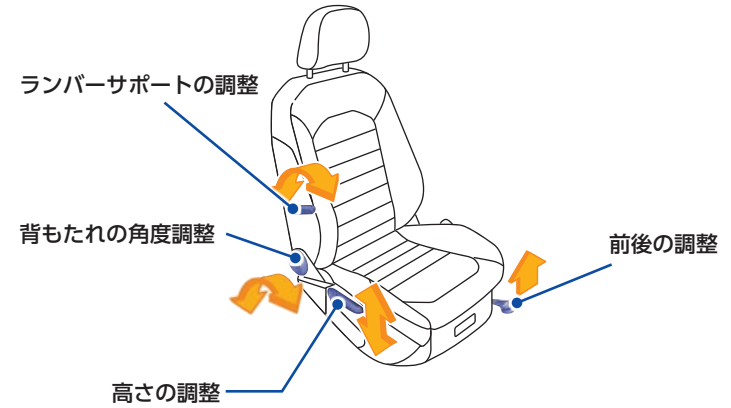
お子様などが誤ってスライドドアとパワウインドーを開けないようにする機能です。ONになっているときには、スライドドアとパワウインドーを車内から開けることができません。ON/OFF を切り替えるには、運転席ドアにあるスイッチを押します。



シートの調整

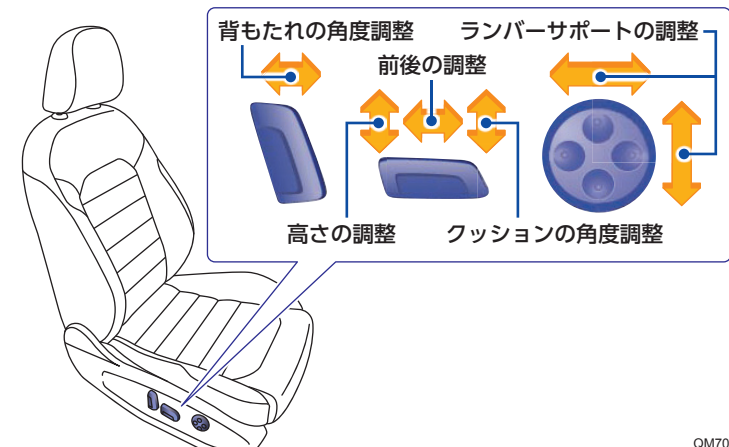
マニュアルシートの調整

シートの高さ、前後、背もたれの角度、ランバーサポートを調整することができます。



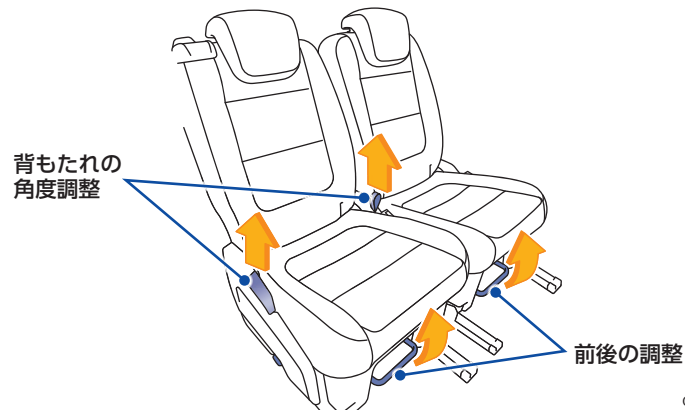
パワシートの調整

シートの高さ、シートの前後、クッションの角度、背もたれの角度、ランバーサポートのカーブ、ランバーサポートの高さを調整することができます。



2列目シートの調整

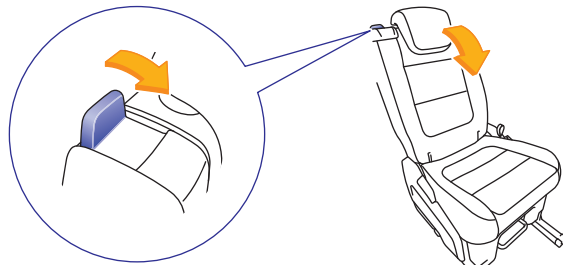
シートの前後および背もたれの角度を調整することができます。



QM7041

イージーエントリー

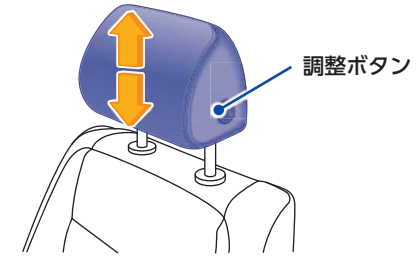
3列目シートへの乗車および降車がスムーズにできます。ヘッドレストを一番下の位置にして、2列目シート上部のレバーを前方に押し、シートを前方に倒してください。シートを戻す場合は、上部のレバーを引き、ロックするまで後方に動かしてください。



QM7011

ヘッドレストの高さ調整 (フロントシート)

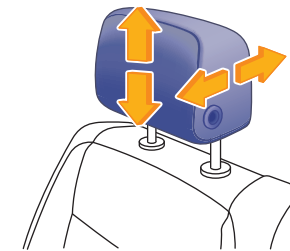
高さを調整することができます。調整ボタンを押しながら上げる、または下げてください。



QM1005

ヘッドレストの高さ、前後位置調整 (フロントシート)

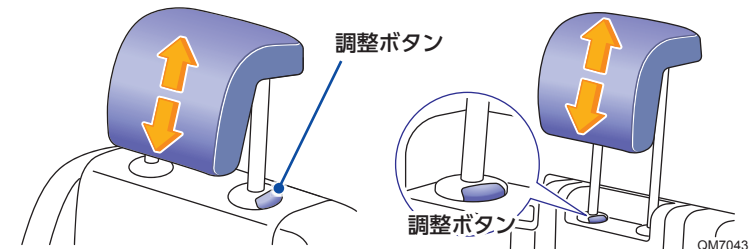
高さ前後位置を調整することができます。調整ボタンを押しながら上下、または前後に動かしてください。



QM1015

ヘッドレストの高さ調整 (2列目/3列目シート)

高さを調整することができます。そのまま引き上げます。下げる場合は調整ボタンを押しながら、下げてください。



QM7043

センターアームレストの調整

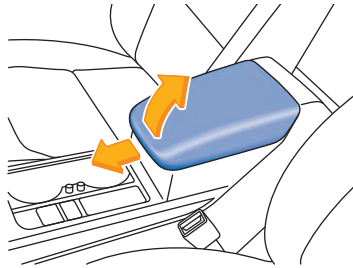
フロントセンターアームレスト

角度および前後位置を調整することができます。

上げるときは、先端を持ち上げます。

下げるときは、いったん上まで引き上げてから下げます。

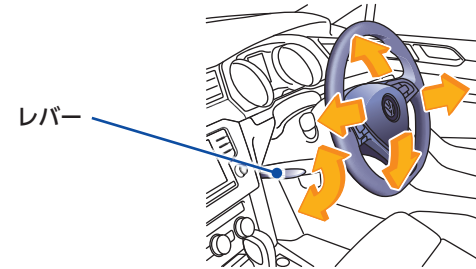
前後位置を調整するときは、前方または後方にロックするまで動かします。



QM6008

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



QM1007

操作 手順

- ① レバーを下げます。
- ② ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
- ③ 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

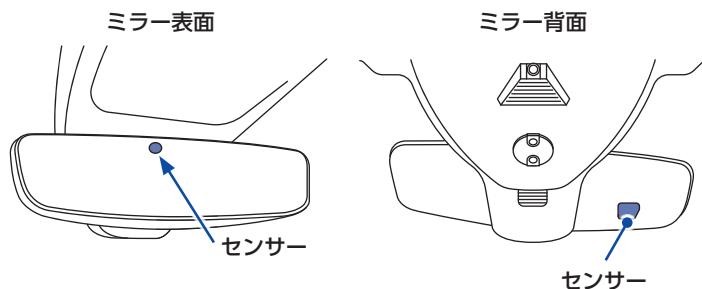
ミラーの調整

自動防眩ルームミラーの調整

リヤウインドーを通して後方の視界が確認できるように、ルームミラーの基本位置を調整してください。

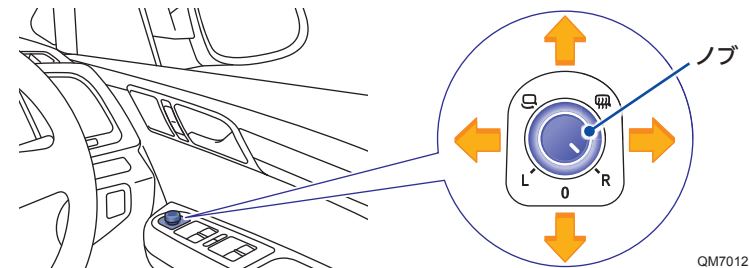
センサーにより周囲の明るさを検知し、後続車のヘッドライトがまぶしいときは自動的に明るさを抑えます。

セレクターレバーが“R”の位置にある時は、自動防眩機能は作動しません。



ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。



操作手順


- 1 ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
- 2 ノブを前後、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
- 3 ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

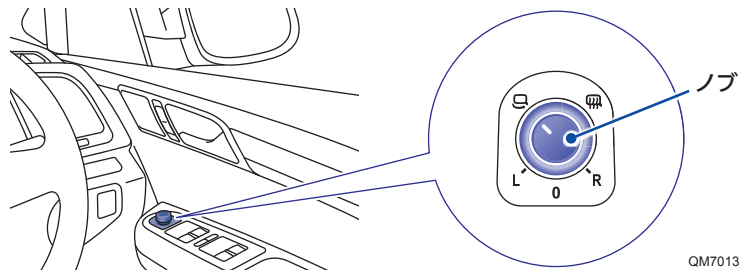
アドバイス

運転席側を調整すると、助手席側も同時に調整されます。助手席側を調整する場合は、先に運転席側を調整してください。

この機能はコンビネーションメーターのメニューで設定を切り替えることができます。


ドアミラーの格納

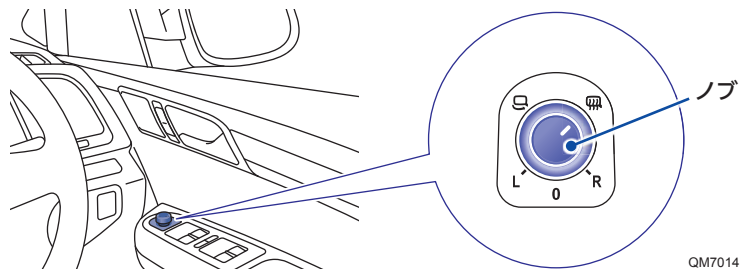
運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。



QM7013

ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、外気温度が 20℃ 以下の場合にドアミラーヒーターが作動します。



QM7014

アドバイス

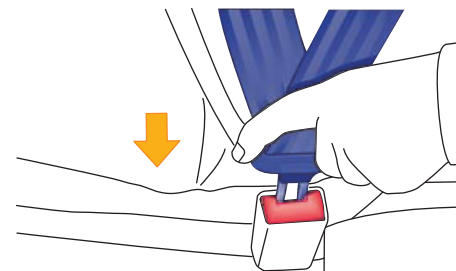
ドアミラーヒーターを使用しないときは、スイッチを“0” (OFF) にしてください。

シートベルト

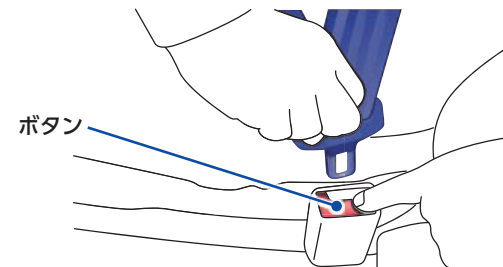
全席に 3 点式シートベルトが装備されています。

シートベルトの取り付け、取り外し

バックルに差し込むと自動的に固定されます。

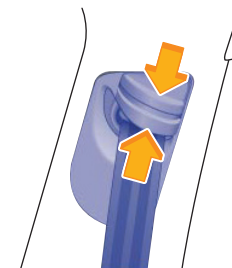


バックルのボタンを押すと外れます。



シートベルトの高さ調整 (フロントシート)

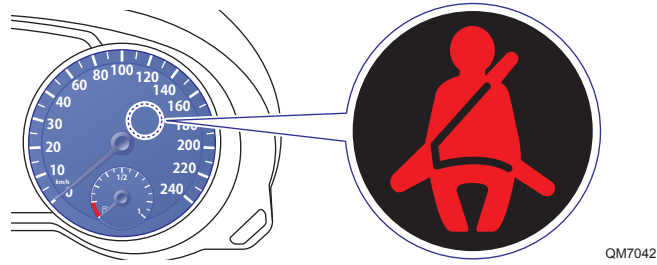
ベルトガイドをつまんで高さを調整してください。



Q0018

シートベルト警告灯

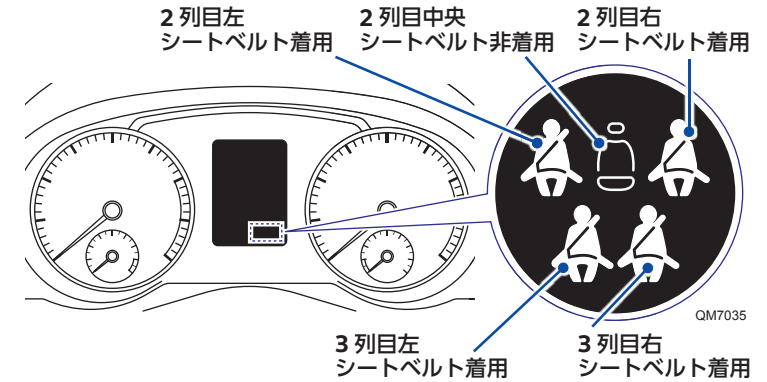
運転席、助手席の乗員がシートベルトを着用せずに 25km/h 以上で走行すると、コンビネーションメーター内の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。



助手席の上に物が置いてある場合も、乗員がいると判断し、警告灯が点灯します。
助手席に置いてある物を別の場所に置き直すか、シートベルトで固定してください。

2列目／3列目シートベルト着用表示

イグニッションスイッチを ON にしたあと、2列目／3列目の座席でシートベルトが着用されているかどうか、コンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

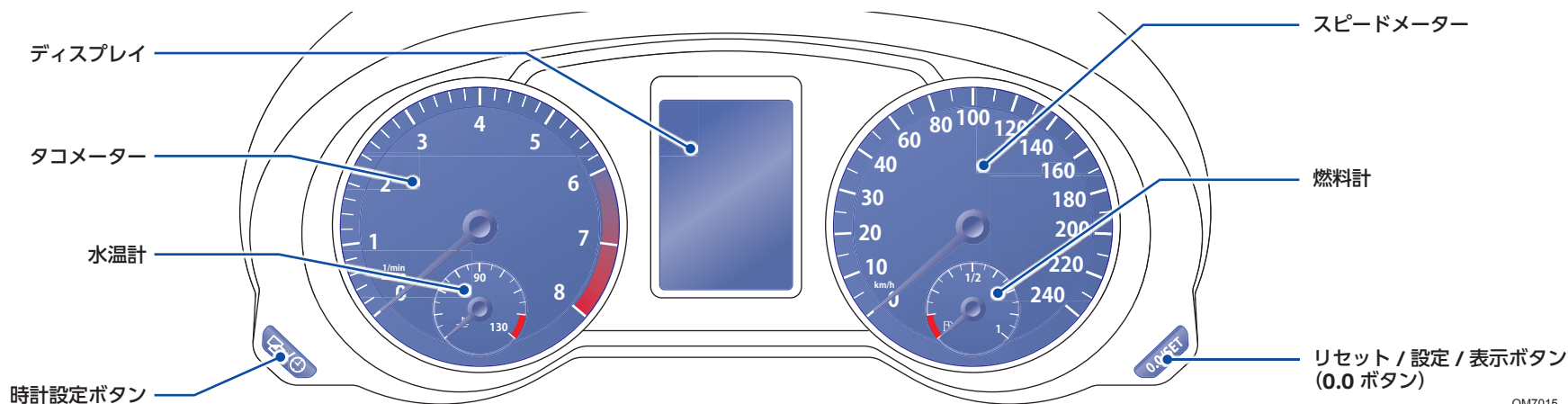


走行中に2列目／3列目のシートベルトが外された場合、該当する座席のシートベルト着用表示が点滅します。車速が 25km/h を超えるとさらに警告音が鳴ります。

運 転

| 運転する

コンビネーションメーター



QM7015

時計の設定方法

操作
手順

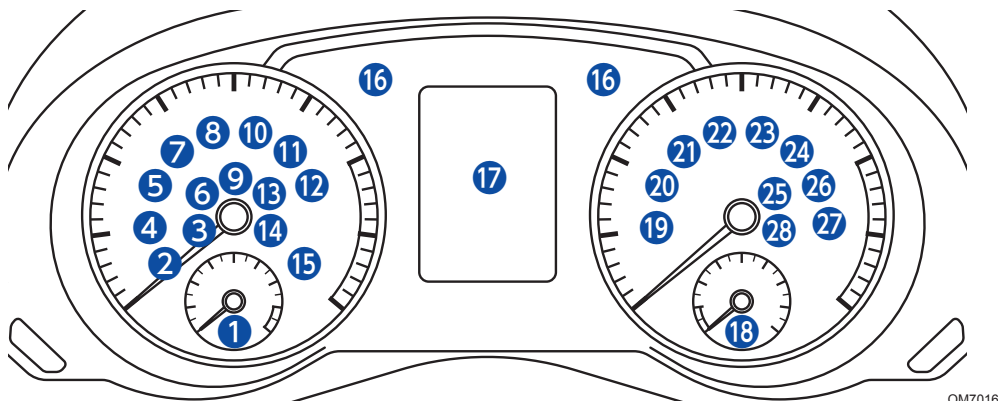
- 1 すべてのドアを閉めます。
- 2 ディスプレイに「時間」と表示されるまで 0.0 ボタンを押し続けます。
- 3 時表示がハイライトされますので、時を変更する場合は 0.0 ボタンを押して正しい時を設定してください。
- 4 分表示がハイライトされるまで待ちます。分を変更する場合は 0.0 ボタンを押して正しい分を設定してください。
- 5 0.0 ボタンから手を離したまま待つと、ハイライト表示が終了し設定が完了します。

時計はコンビネーションメーターのメニューでも設定することができます。

走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。0.0 ボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

警告灯および表示灯



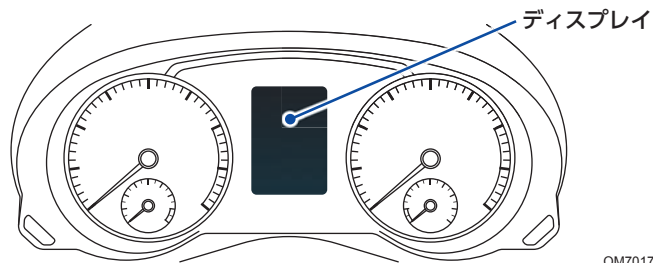
QM7016

位置	シンボル	意味
1		冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
2		ASR OFF
3		ウインドーウォッシャー液量少
4		ブリクラッシュブレーキシステム接近警告
4		ブリクラッシュブレーキシステム OFF
5		エンジン制御システム故障
6		充電系統故障
7		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
8		エンジンオイル油圧低下
8		点灯：エンジンオイル量少
		点滅：エンジンオイルシステム故障
9		エレクトロニックパーキングブレーキ故障
10		エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
11		リヤフォグランプ点灯
12		ハイビーム点灯
13		ライトのバルブ切れ
14		点灯：電動パワーステアリング故障
		点滅：電動ステアリングコラムロック故障
14		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続
		点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
15		点灯：排気ガス浄化システム故障
		点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷

位置	シンボル	意味
16		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
17		後席シートベルト非着用
17		後席シートベルト着用
17		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車未検知
17		白色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非作動
17		サービスリマインダー、点検時期
17		外気温度 4℃以下
17		Start/Stop システム エンジン自動停止中
17		Start/Stop システム エンジン作動中、自動停止不可、自動再始動不可
17		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動停止
18		燃料残量少
19		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
20		ブレーキパッド摩耗
21		ABS 故障
22		点灯：ESC 故障、バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
23		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
24		点灯：クルーズコントロールシステム (CCS) / スピードリミッター ON、 アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動中 点滅：スピードリミッター設定速度超過
25		前席シートベルト非着用
26		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
27		レーンキープアシストシステム待機
27		レーンキープアシストシステム作動中
28		ブレーキペダルを踏んでください
28		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください

マルチファンクションインジケーター

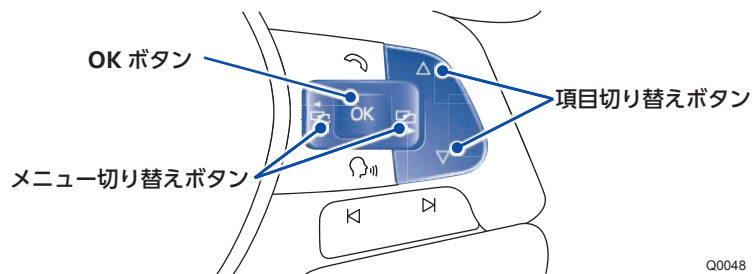
コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。



QM7017

マルチファンクションステアリングホイールでの操作

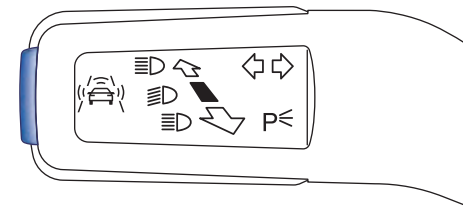
ディスプレイの表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



Q0048

ドライバーアシストシステム用ボタン

ステアリングホイール左側の方向指示器レバーについているボタンでアシストシステムのメニューを呼び出すことができます。



QM7036

メニューと表示項目

メニュー	項目
走行データ (マルチファンクションインジケーター)	Consumption (燃費) 現在の燃料消費率を表示します。
	Av. consumption (平均燃費) ※ 平均燃費を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	Range (走行可能距離) 残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	Distance (走行距離) ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの走行距離を表示します。
	Average speed (平均速度) ※ 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	Digit. speed (車速) 現在の車速を表示します。
	Oil temperature (油温) エンジンオイル温度を表示します。
	Speed warning (警告速度) 警告速度の設定をすることができます。
	Travel time (走行時間) ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの経過時間を表示します。

メニュー	項目
SETTINGS (設定)	各種機能の設定ができます。 ※詳細は次ページを参照してください。
ASSISTANS (アシストシステム)	各ドライバーアシストシステムの ON/OFF を切り替えることができます。
AUDIO (オーディオ)	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
PHONE (電話)	
VEHICLE STATUS (車両ステータス)	警告 / 情報テキストを表示します。

※：以下の2種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

- Since start (スタート後)
 - …………… イグニッションスイッチを ON にしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチ OFF 後、約 2 時間経過するとリセットされます。
- Long-term (累計走行データ)
 - …………… 累計走行データを表示します。積算での走行時間が 20 時間、もしくは 100 時間、または走行距離が 2,000km、もしくは 10,000km に達する毎にリセットされます。
(仕様によって異なります)

メニュー” SETTINGS (設定)”

SETTINGS 画面では、以下の各種設定を行うことができます。

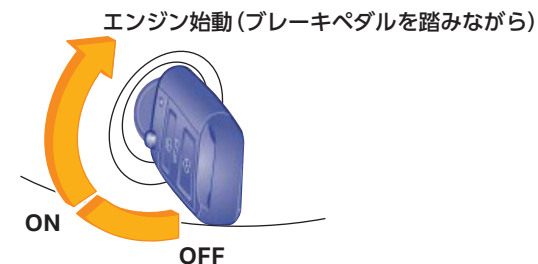
メニュー	サブメニュー	項目
Assistans (アシストシステム)	Lane Assist	・レーンキープアシストシステム “Lane Assist” の ON・OFF を切り替えることができます。
	Front Assist	・以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist” - 接近警報 - 車間距離警告
	ACC	・以下の機能の設定ができます。 - 走行プログラム - 車間距離レベル
Parking aids (駐車支援)	Park Pilot	・パークディスタンスコントロールの自動作動の ON・OFF を切り替えることができます。
Language (言語)	—	・表示させる言語の設定ができます。
MFI data (MFI データ)	—	・マルチファンクションインジケータに表示させる項目を選択することができます。
Convenience (コンビニエンス)	Easy Open	・Easy Open の ON・OFF を切り替えることができます。
	Central locking	・ドア解錠の設定をすることができます。 ・自動施錠の ON・OFF を切り替えることができます。
	Window op.	・ウインドーコンビニエンスオープンの設定をすることができます。
	Mirror down	・ドアミラーの後退時位置の設定をすることができます。
	Mirror ajust	・ドアミラーの同期調整の設定をすることができます。
	Factory setting	・Convenience 機能の設定をリセットすることができます。

メニュー	サブメニュー	項目
Light & Vision (ライトと視界)	Coming Home	・カミングホーム機能の作動時間の設定をすることができます。
	Leaving Home	・リービングホーム機能の作動時間の設定をすることができます。
	Footwell light	・フットウェルライトの照度の設定をすることができます。
	Conv.turn sig.	・車線変更点滅機能の ON・OFF を切り替えることができます。
	Travel mode	・トラベルモードの ON・OFF を切り替えることができます。
	Factory setting	・Light & Vision 機能の設定をリセットすることができます。
Coasting (コースティング 走行モード)	—	・コースティングモードの ON・OFF を切り替えることができます。
Time (時間)	—	・時刻などの設定をすることができます。
Snow tires (ウインタータイヤ)	—	・ウインタータイヤ装着時の速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。
Units (単位)	—	・温度、消費率、距離に使用する単位を設定できます。
Alt.speed dis. (車速単位の切り 替え)	—	車速単位を km/h または mph に切り替えることができます。
Service (サービス)	—	・以下のデータが表示されます。 - 次回の点検整備の時期 - 次回のエンジンオイル交換の時期
Factory setting (工場出荷時設定)	—	メニュー Settings の機能をリセットすることができます。

エンジンの始動・停止

イグニッションスイッチ

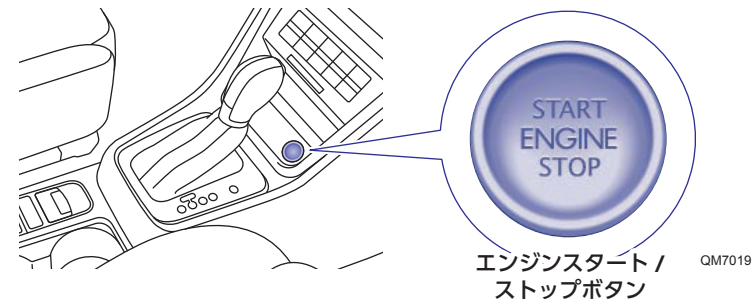
ステアリングコラム右側のイグニッションスイッチでエンジンを始動・停止します。



Q0022

エンジンスタート/ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート/ストップボタンで、エンジンを始動・停止します。



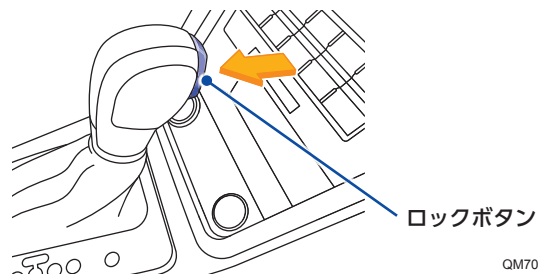
QM7019

目的	操作
エンジン始動	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。
エンジン停止	エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



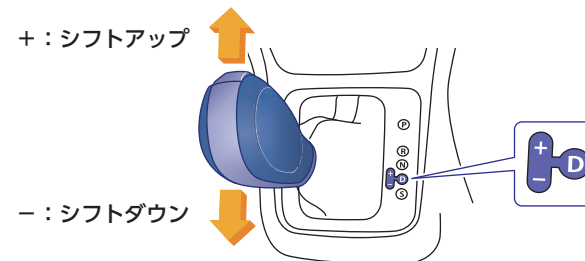
QM7020

“D”と“S”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/S	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム S：スポーツプログラム
▽	“D”と“S”を切り替えるとき
+ -	ティプトロニック（マニュアルモード）

ティプトロニック（マニュアルモード）

セレクターレバーを“D/S”の位置から左側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“+”（前方に押す）でシフトアップ、“-”（後方に引く）でシフトダウンします。



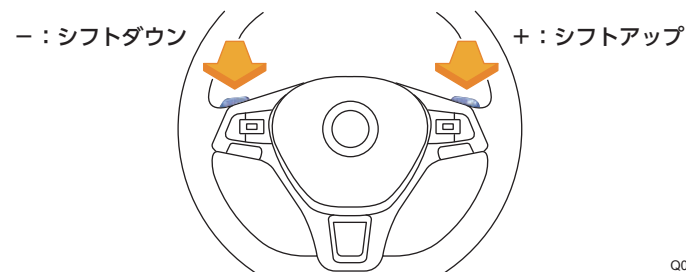
QM7037

オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを右側に戻してください。

パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。

右側のパドルレバー“+”を手前に引くとシフトアップ、左側のパドルレバー“-”を手前に引くとシフトダウンします。



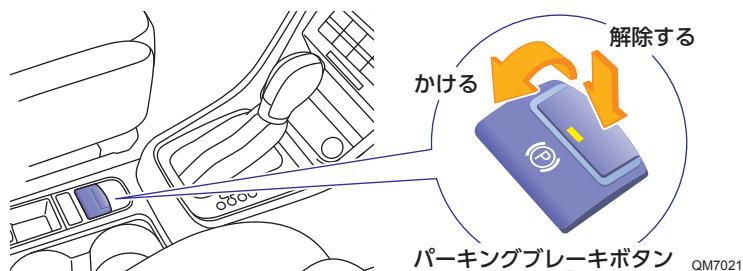
Q0041

セレクターレバーが“D/S”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“+”を約1秒間、手前に引いてください。

パーキングブレーキ

エレクトロニックパーキングブレーキ

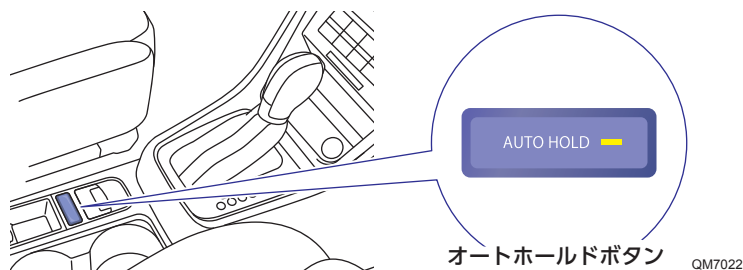
パーキングブレーキをかけるには、ボタンを引きます。
パーキングブレーキを解除するには、イグニッションを ON にしたあと、ブレーキペダルを踏みながらボタンを押します。
また、アクセルペダルを踏んで車両を発進させた場合も、パーキングブレーキは自動的に解除されます。



車両が動き出す可能性がある状態で運転席ドアを開けた時など、システムが不適切な駐車状態と判断した場合、パーキングブレーキが自動的に作動します。

オートホールド


オートホールドを ON にすると、停車後にブレーキペダルを放した時にパーキングブレーキが自動的に作動し、車両を停止状態で保持することができます。



Start/Stop システム

Start/Stop システムは、信号待ちや渋滞などで停止しているとき、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。
車両を停止させたあと、ブレーキペダルを踏み続けると、エンジンが自動停止します。
自動停止中にブレーキペダルを放す、またはアクセルペダルを踏むと、エンジンが自動再始動します。
エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

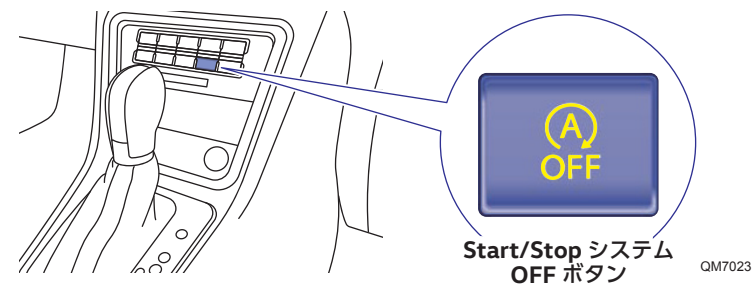
 …… エンジン自動停止中

 …… エンジン作動中、自動停止不可、または自動停止中で自動再始動できない

自動再始動できない場合、セレクターレバーを“P”の位置に戻してから手動でエンジンを始動してください。
自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は取扱説明書の「スタートアシストシステム」を参照してください。

Start/Stop システムの機能停止

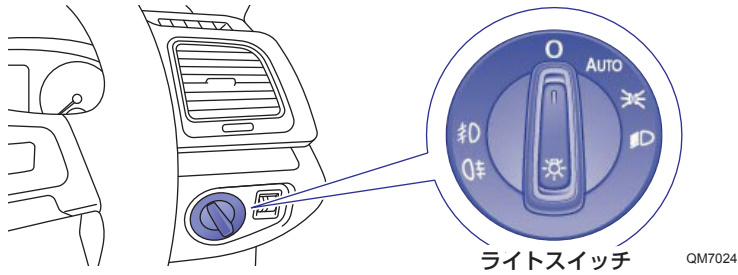
Start/Stop システムの機能を停止する場合は、センターコンソールの Start/Stop システム OFF ボタンを押します。
OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。



ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



- 0** ……ヘッドライト消灯
- AUTO** ……周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯
- ……スモールライト点灯
- ……ヘッドライト点灯（ロービーム）

ステアリングホイール左側のレバーを前方に押しとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。
レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。
(パッシング)

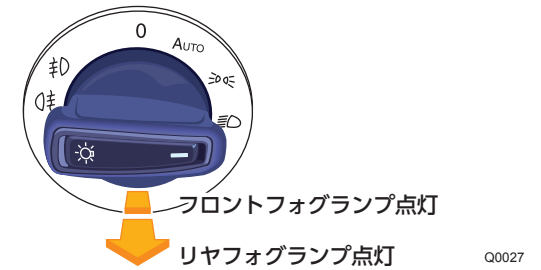


ヘッドライトハイトコントロール

乗車人数や荷物の積載状態によって、車両は前後に傾きます。インフォテイメントシステムで、ヘッドライトの光軸位置を車両の状態に合わせて調整できます。

フォグランプ

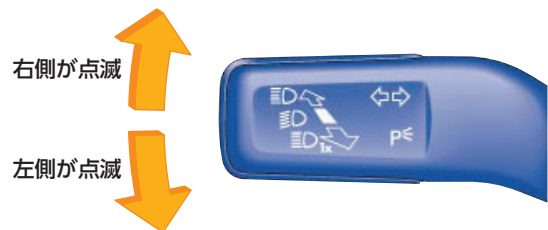
ライトスイッチが AUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプが点灯します。



- 手前に 1 段階目 …… フロントフォグランプ点灯
- 手前に 2 段階目 …… リヤフォグランプ点灯

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。



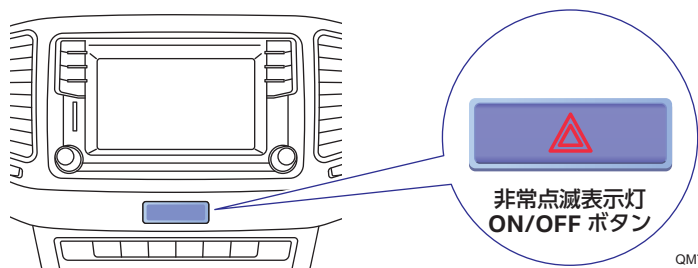
QM7027

車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が3回点滅します。この機能はコンビネーションメーターのメニューで設定を切り替えることができます。

非常点滅表示灯

センターコンソールの非常点滅表示灯 ON/OFF ボタンで非常点滅表示灯を点滅します。

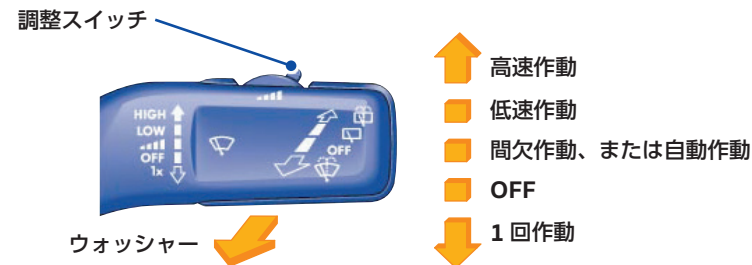


QM7028

ウインドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。



QM7029

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。

リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。



QM7030

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーがONのときにセレクターレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。

燃料の給油

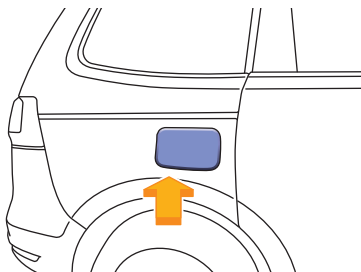
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。

- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクトレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作 手順

- 1 キー、またはセンターロックスイッチで車両を解錠します。
- 2 フューエルリッドを開きます。

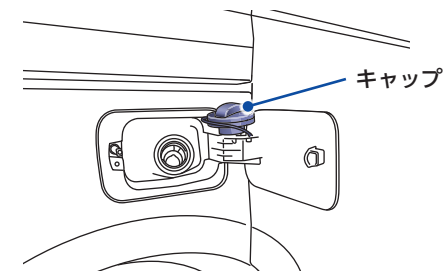
フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



QM7031

- 3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドのヒンジ部に掛けます。



QM7032

- 4 給油します。
使用燃料 …………… 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）
- 5 燃料タンクのキャップを閉めます。
キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。
- 6 フューエルリッドを閉めます。

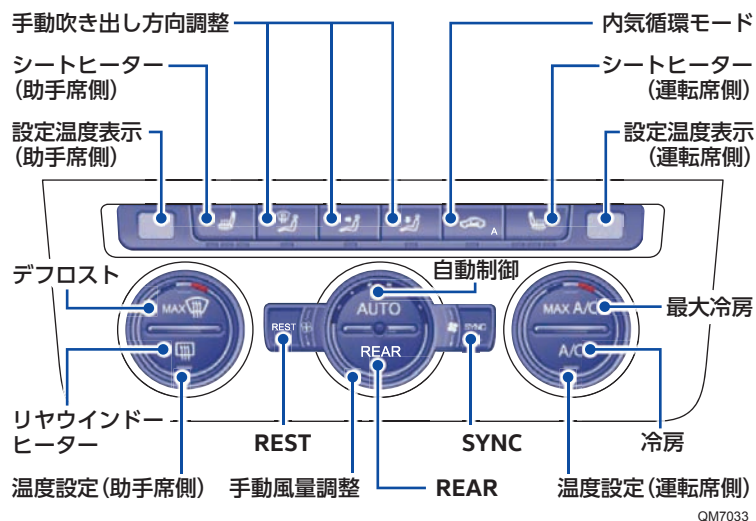
便利な機能

室内装備

フルオートエアコンディショナー

フルオートエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。

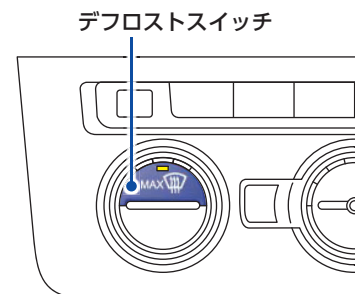


- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。
- 自動制御を ON にすると、設定温度に応じて、風量、送風方向を自動的に制御します。手動でこれらを制御すると、自動制御は OFF になります。

- SYNC スイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯して助手席側の設定温度が運転席側と連動します。連動を解除するときは、もう一度 SYNC スイッチを押すか、助手席側の温度設定ダイヤルを回します。

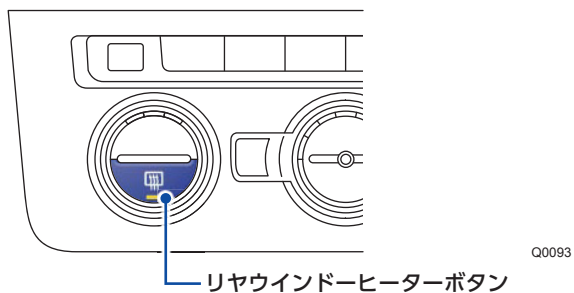
デフロスト機能

フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。デフロストスイッチを押すとデフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、吹き出し口が自動的にフロントウインドー側に設定されます。また、外気温との温度差があるときは、冷房システムが ON になります。



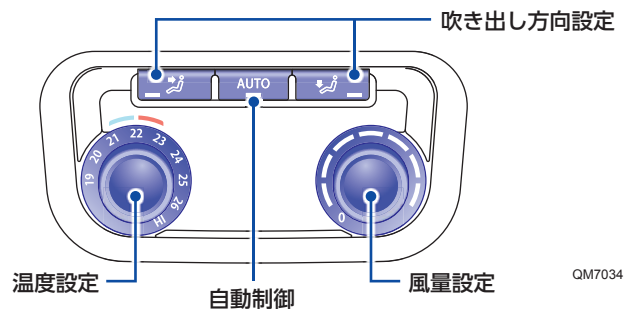
リヤウインドーヒーター

リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。
リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。
リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。



後席用操作パネル

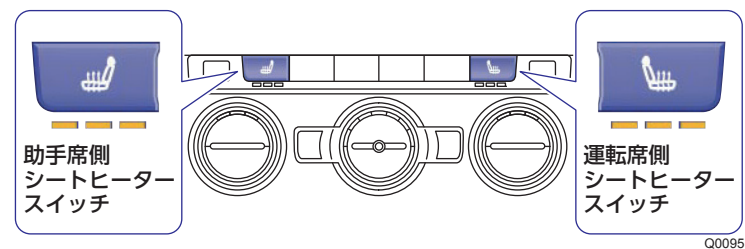
センターコンソール後部にある後席用操作パネルで、後席の温度・風量、吹き出し方向を設定することができます。



シートヒーター

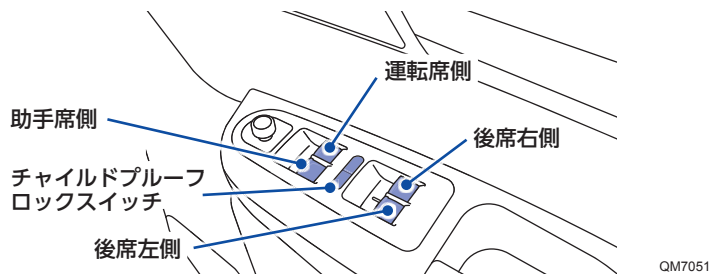
フロントシートヒーター

センターコンソール上部にあるシートヒータースイッチを押すと、フロントシートのシート座面と背もたれのヒーターが作動します。ヒーターの強さは3段階です。スイッチを押すごとに、強（表示灯が3つ点灯）⇒中（表示灯が2つ点灯）⇒弱（表示灯が1つ点灯）⇒OFF（表示灯が消灯）の順に切り替わります。



パワーウィンドー

各ドアにあるパワーウィンドースイッチで、ウィンドーの開閉を操作します。



チャイルドプルーフロックスイッチを押すと、後席ドアのパワーウィンドーは作動しなくなります。

アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。

リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

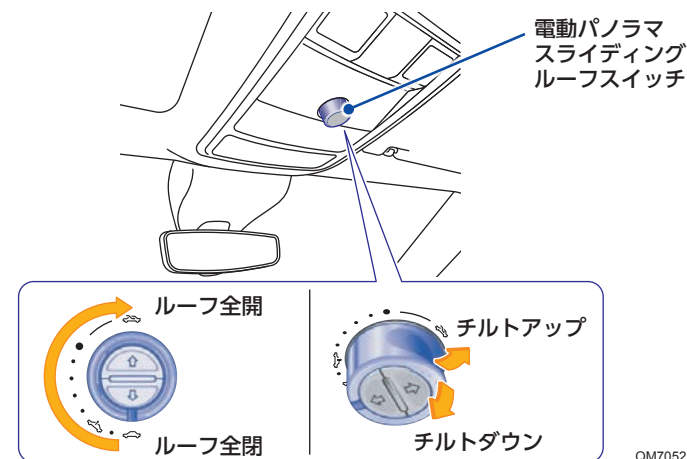
この機能はコンビネーションメーターのメニューで設定を切り替えることができます。

電動パノラマスライディングルーフ

電動パノラマスライディングルーフ

ルーフにあるスイッチで、電動パノラマスライディングルーフの開閉とチルト機能を操作します。

ルーフを開閉するには、好みの位置にスイッチを回します。チルトアップするにはスイッチを押し、チルトダウンするにはスイッチを引きます。



アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。

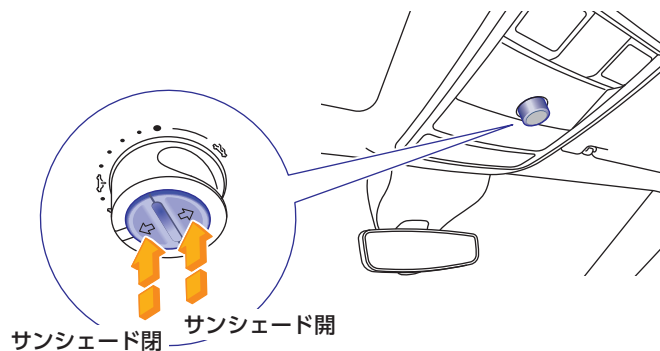
リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

この機能はコンビネーションメーターのメニューで設定を切り替えることができます。

電動サンシェード

ルーフにあるスイッチで、電動サンシェードの開閉を操作します。サンシェードを自動で全開 / 全閉するにはスイッチを押します。再度スイッチを押すと自動作動は停止します。サンシェードをお好みの位置に開閉するには、スイッチを押し続けます。



QM7053

電動パノラマスライディングルーフを開けると連動して開きます。電動パノラマスライディングルーフが開いているときは、開けているところまで閉めることができます。

チャイルドシート

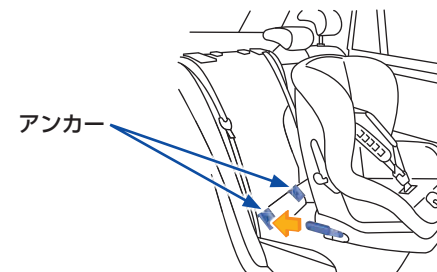
ISOFIX チャイルドシート

チャイルドシートを取り付ける時は、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

取り付け

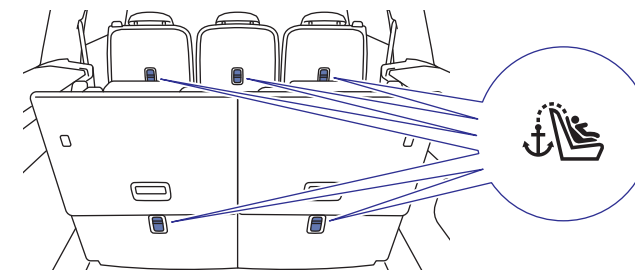
後部座席には、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。

ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシート座面後方のアンカーに固定します。



QM7054

トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。



QM7055

インテグレートッドチャイルドシート

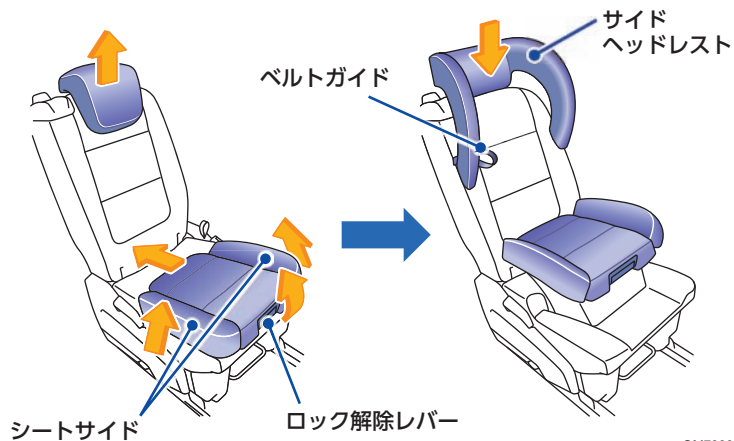
インテグレートッドチャイルドシートは、2列目左右のシートに内蔵されています。

チャイルドシートが必要なお子様が乗られる時に、簡単にチャイルドシートとして使用することができます。また、使用しない時はシート座面を格納して、サイドヘッドレストを取り外すことで通常のシートとして使用できます。

チャイルドシートにする

- ロック解除レバーを引き、シート座面を後方に押し込んでロックさせます。
- シートサイドを上に戻します。
- 車両のヘッドレストを取り外し、ベルトガイドがウインドー側にくるようにサイドヘッドレストを取り付けます。

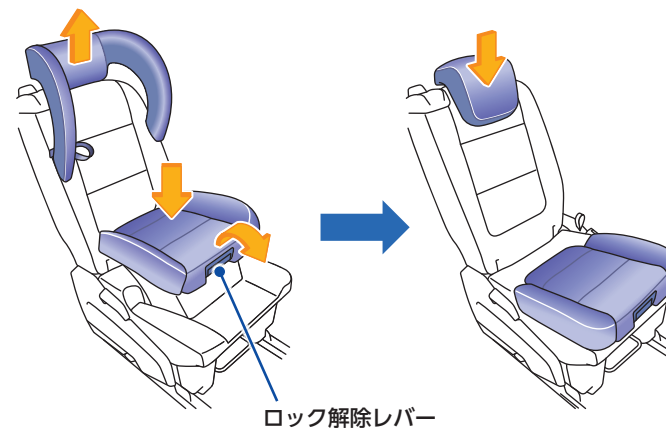
シートベルトはベルトガイドに通して着用してください。



QM7090

通常シートに戻す

- ロック解除レバーを引き、シート座面の中央を下に押し込んでロックさせます。シートサイドは自動的に格納されます。
- サイドヘッドレストを取り外し、車両のヘッドレストを取り付けます。



QM7089

※インテグレートッドチャイルドシートは身長 115cm 以上のお子様を使用してください。

身長 115cm 未満のお子様には、純正アクセサリーのチャイルドシートの使用を推奨します。

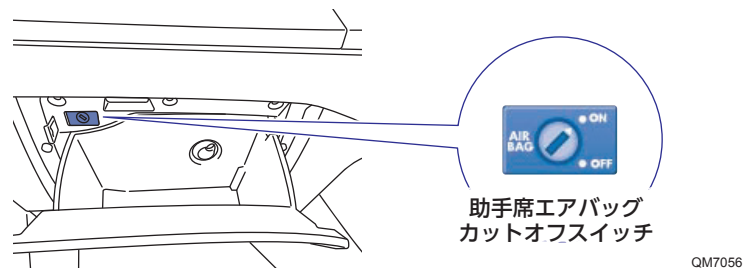
エアバッグ

運転席側フロント、運転席足元、助手席側フロント、前席サイド、後席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。

グローブボックスを開け、助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。



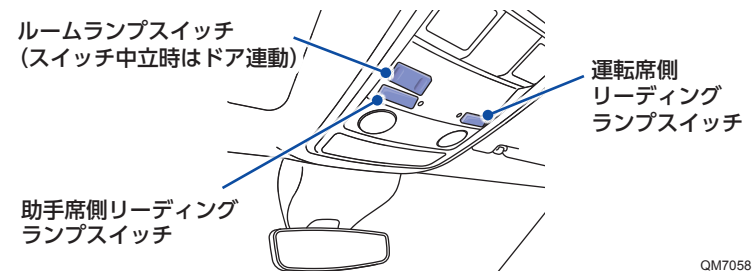
助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が切り替わります。



ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリヤルームランプがあります。

ルームランプスイッチを中立位置にすると、ドアの開閉に連動して自動的に点灯 / 消灯させることができます。



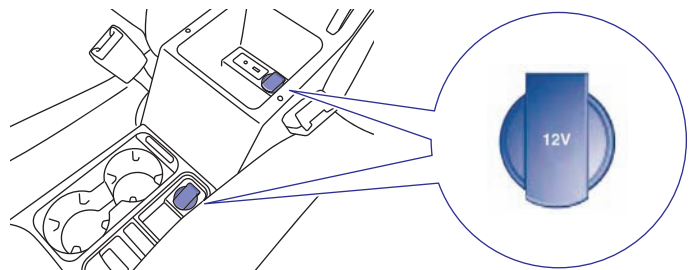
フロントルームランプおよびリヤルームランプの左右は、それぞれ独立したリーディングランプとしても点灯することができます。

12V ソケット

12V ソケットはセンターコンソールとアームレスト内、ラゲージルームにあります。

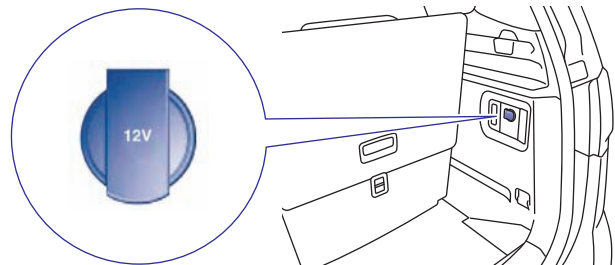
最大消費電力は 120W です。同時使用時は総消費電力が 190W を超えないようにしてください。

センターコンソール



QM7059

ラゲージルーム



QM7060

マッサージ機能

マッサージ機能は、運転席シートに装備され、ドライバーの疲労感や運転のストレスを和らげ、長時間のドライビングをより快適にします。この機能は、運転中でも作動することが可能です。

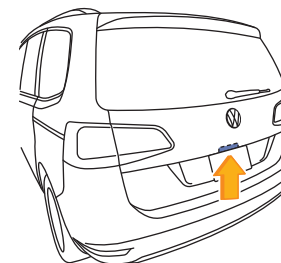
マッサージ機能ボタンを押すと、マッサージ機能が約 10 分間作動します。途中でマッサージ機能を停止したい場合は、マッサージ機能ボタンをもう一度押すと停止します。

荷物の積載

ラゲージルーム

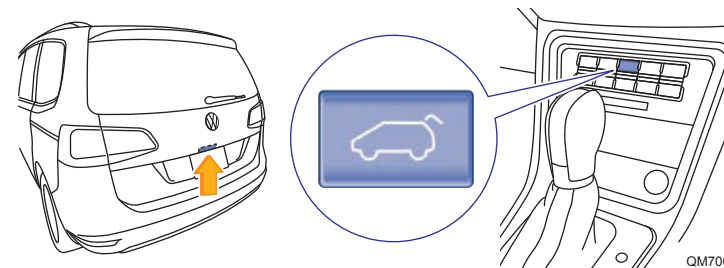
テールゲートを開ける

パワーテールゲートが装備されていない場合、テールゲートリリースボタンを押し、手で上に持ち上げます。少し開くと、ダンパーの力で自動的に持ち上がります。



QM7063

パワーテールゲートが装備されている場合、テールゲートリリースボタンを押す、またはセンターコンソールにあるボタンを押すとテールゲートが自動で開きます。また、リモコンキーのボタンでテールゲートを開けることもできます。



QM7064

Easy Open

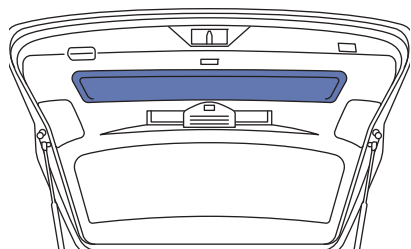
車両キーを保持したユーザーが、リアバンパーの下で足を動かすと、テールゲートが自動で開きます。



QM7065

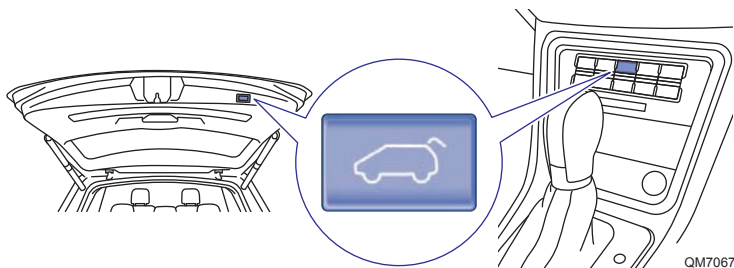
テールゲートを閉める

パワーテールゲートが装備されていない場合、テールゲート内側の持ち手部分を引いて、テールゲートを閉めます。



QM7066

パワーテールゲートが装備されている場合、テールゲート内側のボタンを押す、またはセンターコンソールにあるボタンを押すとテールゲートが自動で閉まります。また、リモコンキーのボタンでテールゲートを閉めることもできます。

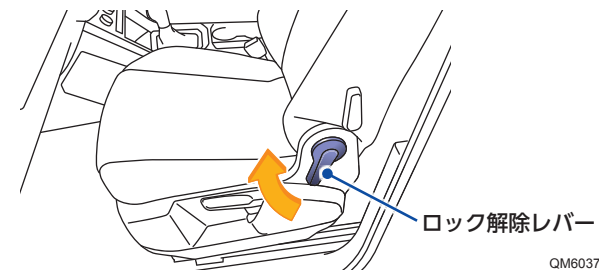


QM7067

助手席シートの背もたれを倒す

助手席シートの背もたれを倒すことにより、長さのある荷物を積み込むことができます。

ロック解除レバーを引き、背もたれを前方に倒します。

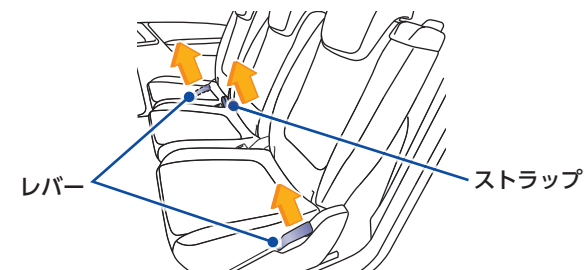


QM6037

2列目シートの背もたれを倒す

分割可倒式2列目シートの背もたれを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。

シートの横にあるレバーまたはストラップを引き、背もたれを前方に倒します。

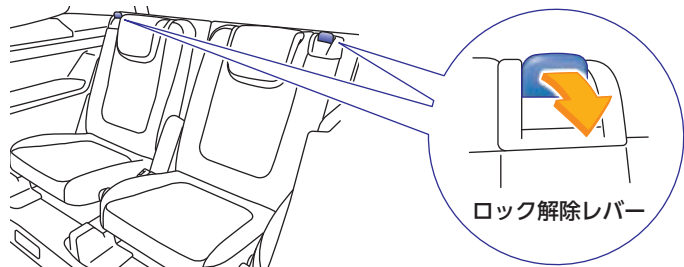


QM7068

3列目シートの背もたれを倒す

3列目シートを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。

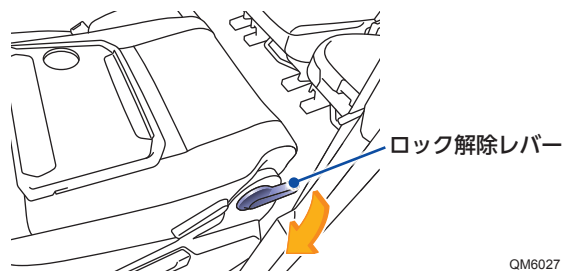
背もたれの上部にあるロック解除レバーを引き、背もたれを前方に倒し、カバーパネルをシート座面上に広げます。シート座面は背もたれを倒すと自動的に前方に回転します。



QM7069

助手席シートの背もたれを戻す

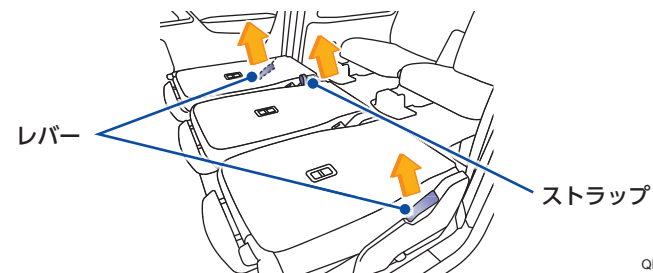
助手席シートの背もたれを戻すときは、ロック解除レバーを下に押し、背もたれを起こします。



QM6027

2列目シートの背もたれを戻す

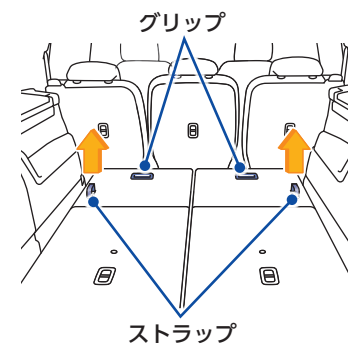
2列目シートの背もたれを元に戻すときはレバーまたはストラップを引いて、背もたれを起こし、ロックされるまで後方に押し込みます。



QM7061

3列目シートの背もたれを戻す

3列目シートの背もたれを戻すときは、ストラップを引いてシート座面上のカバーパネルを起こします。起こしたカバーパネルのグリップを持って、ロックされるまで背もたれを後方に引き込みます。シート座面を元の位置に戻します。

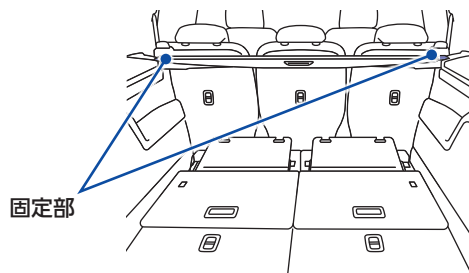


QM7070

スライディングカバー

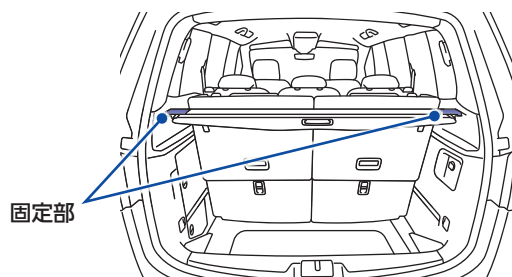
スライディングカバーは2列目と3列目シートの後部に取り付けることができます。

2列目スライディングカバー固定部



QM7071

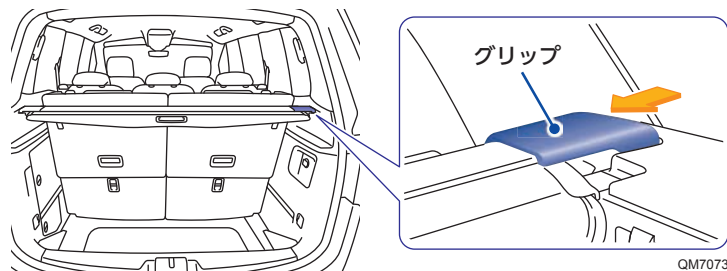
3列目スライディングカバー固定部



QM7072

スライディングカバーを取り付ける場合は、グリップを内側に押し、スライディングカバーを取り付けます。3列目に取り付ける時は、サイドトリムのカバーを取り外す必要があります。

スライディングカバーを取り外す場合は、グリップを内側に押し、スライディングカバーを上へ取り外します。



QM7073

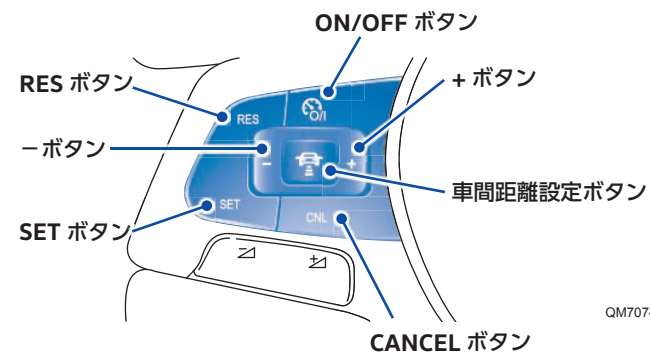
運転支援

アダプティブクルーズコントロールシステム “ACC”

レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。



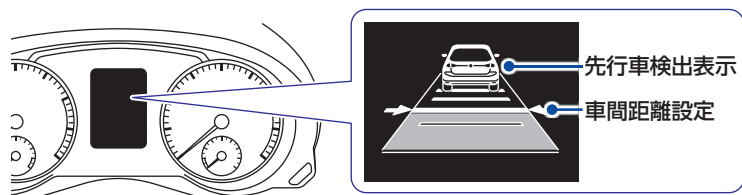
アダプティブクルーズコントロールシステムは、マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



QM7074

アダプティブクルーズコントロールシステムが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイに作動状態が表示されます。

先行車検出表示・・・先行車を検出しているときに表示します。
車間距離設定・・・現在の車間距離設定を表示します。





QM7075

アドバイス

車間距離設定は、矢印の位置が下（手前）にあるほど短く、上（奥）にあるほど長くなります。

操作手順

- 1 ON/OFF ボタン  を押し、システムを ON（スタンバイ状態※）にします。
- 2 設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。
- 3 車間距離設定ボタン  を押し、車間距離を設定します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。


※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速や車間距離設定を変更することができます。

設定車速の変えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。


- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。
+ ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。
- ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

車間距離設定の変えかた

車間距離設定ボタン  を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。



システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/OFF ボタン  を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

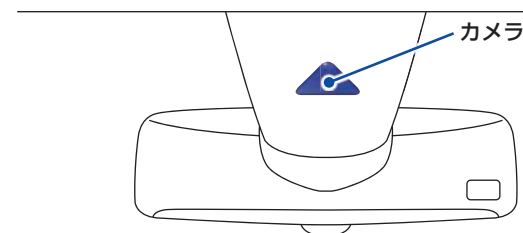
システムの停止のしかた

以下の方法で、システムを停止することができます。このとき、設定された車速も消去されます。

- ON/OFF ボタン  を長押しします。
- システムを一時的に OFF にしているときは、ON/OFF ボタン  を短く押します。

レーンキープアシストシステム “Lane Assist”

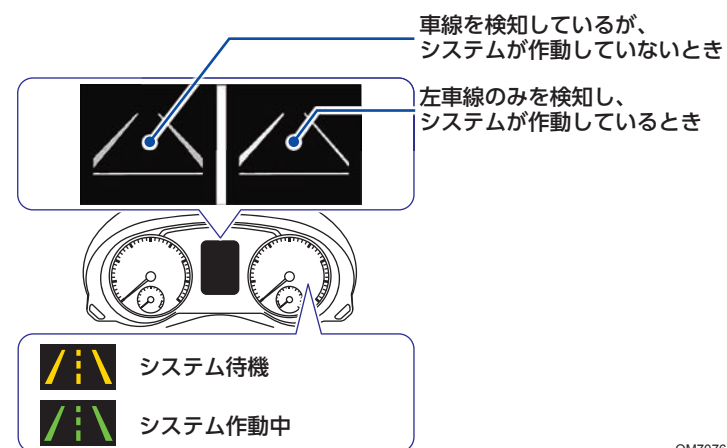
フロントガラス上部に設置されたカメラにより走行中の車線をモニタリングし、運転者が意図しない車線の逸脱を検知すると、自動的にステアリングを補正したり、ステアリングを振動させて注意を促します。



Q0034

コンビネーションメーターのディスプレイおよび表示灯でレーンキープアシストシステム “Lane Assist” の作動状態が表示されます。

- 線の色が薄い : 車線を検知していないとき
- 線が細く色が濃い : 車線を検知しているが、システムが作動していないとき
- 線が太く色が濃い : 車線を検知し、システムが作動しているとき



QM7076

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

レーンキープアシスト「Lane Assist」の機能停止のしかた

操作 手順

- 1 ドライバーアシストシステム用ボタンを押して、「ASSISTANTS」を呼び出します。
- 2 「Lane Assist」を選択します。
- 3 「Lane Assist」のチェックボックス を外します。

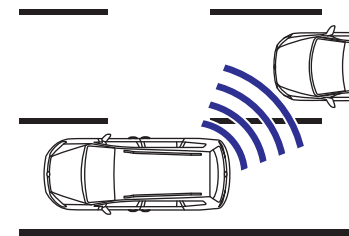
コンビネーションメーターの表示灯が消灯し、レーンキープアシストシステム「Lane Assist」を OFF にすることができます。

アドバイス

機能を ON にするときは、チェックボックスに を入れます。

ブラインドスポットディテクション (後方死角検知機能)

ブラインドスポットディテクションは、リヤバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーにより車両の後方をモニタリングします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内の警告灯が点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させると警告灯が点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。この機能は、15km/h 以上で作動します。



QM7077

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）の 機能停止のしかた

操作 手順

- 1 ドライバーアシストシステム用ボタンを押して、「ASSISTANTS」を呼び出します。
- 2 「Blind Spot」を選択します。
- 3 「Blind Spot」のチェックボックス を外します。

アドバイス

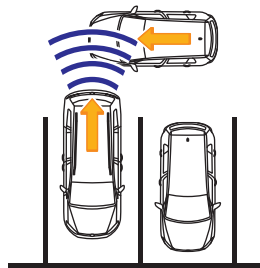
機能を ON にするときは、チェックボックスに を入れます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)

リヤトラフィックアラートは、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーにより後方を横切る車両をモニタリングし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性を検知すると、警告音・警告灯でドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、後退時 12km/h 以下で作動します。



リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能の機能停止のしかた

操作 手順

- 1 ドライバーアシストシステム用ボタンを押して、「ASSISTANTS」を呼び出します。
- 2 「Rear Traffic」を選択します。
- 3 「Rear Traffic」のチェックボックス を外します。

アドバイス

機能を ON にするときは、チェックボックスに を入れます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

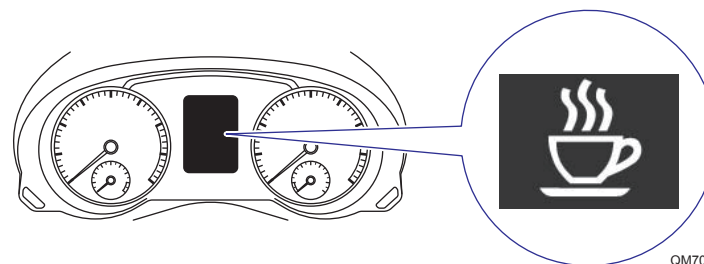
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。



運転パターンのモニタリングは、約 60km/h ~ 約 200km/h で走行中に行われます。

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、マルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。



QM7079

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の機能停止のしかた

操作手順

- 1 ドライバーアシストシステム用ボタンを押して、「ASSISTANTS」を呼び出します。
- 2 「Driver alert」を選択します。
- 3 「Driver alert」のチェックボックス を外します。

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”を OFF にすることができます。

アドバイス

機能を ON にするときは、チェックボックスに を入れます。

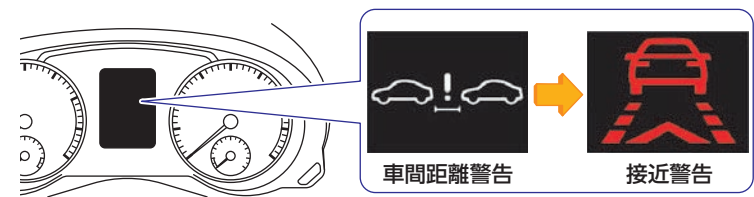
プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist” (シティエマージェンシー機能付)

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。

レーダーセンサーで先行車をモニターし、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。

また、5km/h～30km/hでの走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

衝突の危険性を検知し、システムが作動すると、コンビネーションメーターのディスプレイには下記の図が表示されます。



QM7080

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、マルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist” (シティアージェンシー機能付)の機能停止のしかた

操作 手順

- 1 ドライバーアシストシステム用ボタンを押して、「ASSISTANTS」を呼び出します。
- 2 「Front Assist」を選択します。
- 3 「Front Assist」のチェックボックス を外します。

アドバイス

機能を ON にするときは、チェックボックスに を入れます。

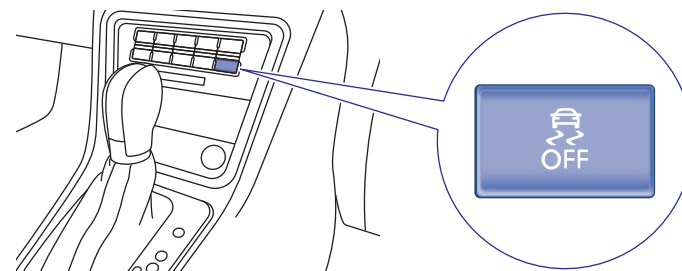
ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。ESC には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS (アンチロックブレーキングシステム)
ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS (ブレーキアシストシステム)
ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR (トラクションコントロールシステム)
発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- XDS (エレクトロニックディファレンシャルロックシステム)
直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

ASR の機能の切り替え

センターコンソールにあるASRボタンでON/OFFを切り替えることができます。



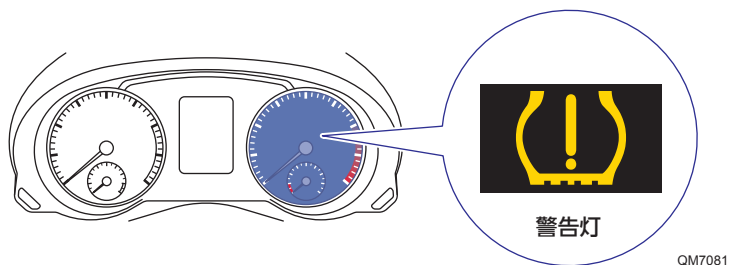
QM7086

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4輪のタイヤ空気圧を点検してください。



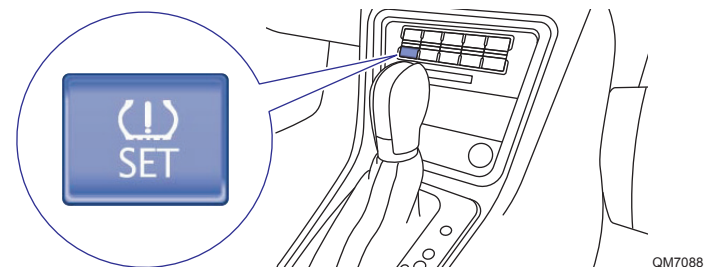
タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

操作 手順

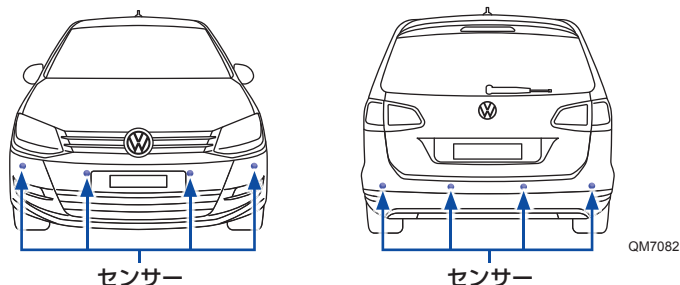
- 1 イグニッションスイッチを ON にします。
- 2 確認音が鳴るまでセンターコンソールにある SET スイッチを押します。

現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。



パークディスタンスコントロール

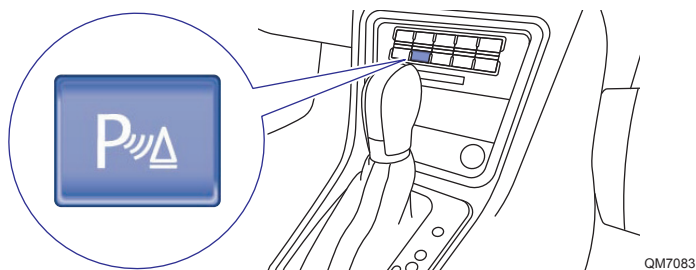
フロントバンパーおよびリアバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。



以下のときに作動します。

- セレクターレバーを“R”の位置にしたとき
- 車両が後退したとき
- 15km/h未満の速度で前方の障害物に接近したとき

また、センターコンソールのボタンを押すと、手動で機能のON/OFFを切り替えることができます。

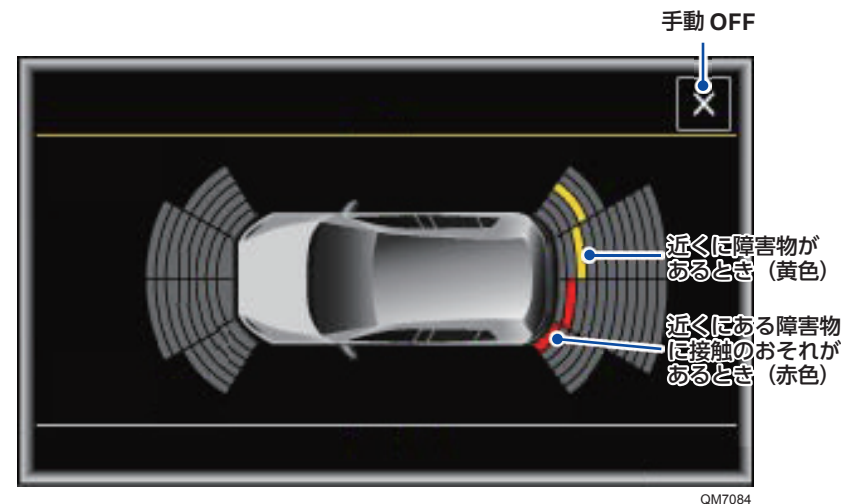


アドバイス

機能がONになるとボタンの表示灯が点灯し、機能がOFFになるとボタンの表示灯は消灯します。

障害物に近づくとピッピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。

さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



パークディスタンスコントロールの自動作動停止のしかた

操作手順

- 1 マルチファンクションホイールのメニュー切り替えボタンを押します。
- 2 メニュー「SETTINGS」から「Parking aids」を選択します。
- 3 「Park Pilot」の“Auto. activ.”のチェックボックス を外します。

リヤビューカメラ “Rear Assist”

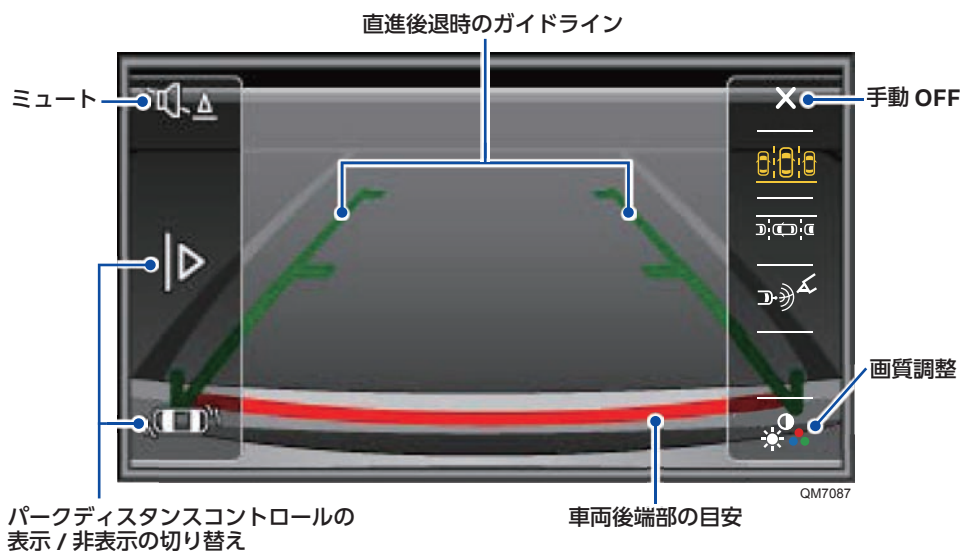
後退時、インフォテインメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。

カメラはテールゲートのリリースボタン横にあります。



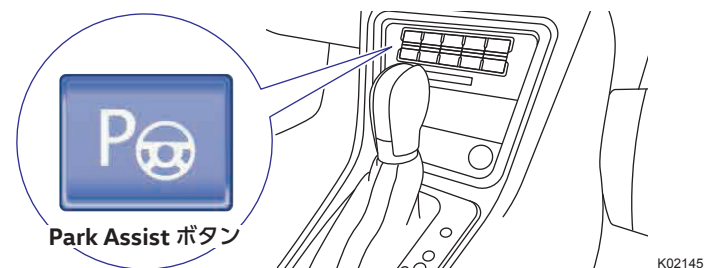
セレクターレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。

セレクターレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。



駐車支援システム “Park Assist”

駐車支援システム “Park Assist” は、縦列駐車、後退または前進して横列駐車をする際のステアリング操作を自動で行い、スムーズな駐車を補助します。縦列駐車からの発進も、同様にシステムがステアリング操作を自動で行い、スムーズな発進を補助します。運転者はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されるガイドに従って、前進、後退、ブレーキの操作をする必要があります。



アドバイス

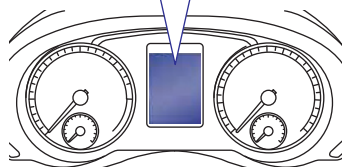
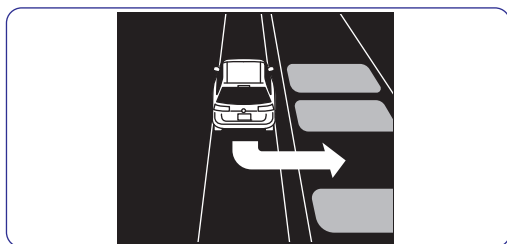
駐車支援システム “Park Assist” は、駐車スペースの駐車している車両を検知して駐車スペースを検知していません。車両が駐車していない駐車スペースでは本機能を使用することはできません。

誤った操作をすると、駐車支援システム “Park Assist” が終了します。終了した場合は操作手順の最初からやり直する必要があります。

駐車のみかた

操作 手順

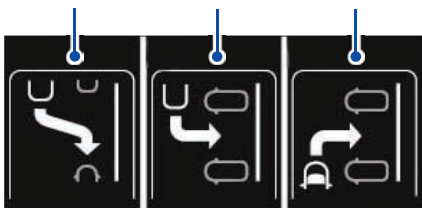
- 1 希望する駐車スペースの少し手前で停車します。
- 2 Park Assist ボタンを押します。
- 3 駐車する側に方向指示器を操作します。
- 4 駐車スペースが検知されるまで、ゆっくり前進します。
車両が駐車スペースを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイに下記の図が表示されます。



K02146

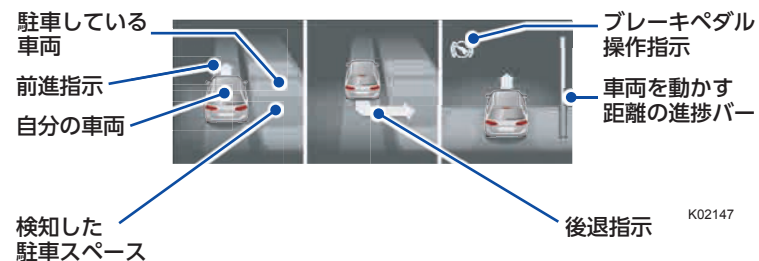
- 5 Park Assist ボタンを押して、希望する駐車方法を選択します。

後退して縦列駐車 後退して横列駐車 前進して横列駐車



QM4048

- 6 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセクターレバー、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



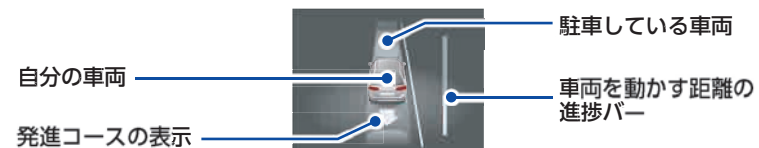
K02147

- 7 駐車が完了すると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい!」と表示されます。

縦列駐車スペースからの発進のみかた

操作 手順

- 1 Park Assist ボタンを押します。
- 2 発進する道路側に方向指示器を操作します。
- 3 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセクターレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



K02148

- 4 縦列駐車スペースから発進できる状態になると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい!」と表示されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲングループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲングループ ジャパン 株式会社に帰属します。本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan



本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発行：2017年7月
印刷：2017年7月
発行番号：181.5J2.SH7.70